

一般社団法人 日本らんちう協会



第六十六回全国品評大会御案内

謹啓 仲秋の候、会員皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。
いよいよ大会間近となり、ご丹精の魚も今や上々の出来栄えと存じます。
さて、今年も繊細華麗な魚が妍を競い、棋界の最高位の座をかけて集う
全国品評大会を中部本部担当で左記の通り開催致します。つきましては、
ご自慢の優魚を多数ご披露戴き、来会者共々魅了させて戴ければこの上なく
幸いと存じます。何卒皆様お誘い合わせの上ご参会くださいますよう御案内
申し上げます。

謹白

令和五年十月吉日

主 催 一般社団法人日本らんちう協会
(理事長 宮本 政和)
後 援 文化庁 愛知県 豊橋市
当番本部 中部本部

記

- 日時 令和五年十一月三日(文化の日) 晴雨不問
- 会場 豊橋総合動植物公園(自然博物館入口前)
- 住所 愛知県豊橋市大岩町字大穴一―二三八
- 受付 午前9時より 会員は受付を済ませ昼食券を受け取る。
出陳者は出陳申込票記入の上、出陳料を支払う。
- 魚受付 出陳申込票と出陳魚写真を提示し受付をする。
出陳料 一尾につき二〇〇〇円
- 出陳魚数 親魚・忝歳魚・当歳魚制限無し。 出陳料 一尾につき二〇〇〇円
- 賞 優等賞・忝等賞・忝等賞の入賞者には、協会賞を付与する。
- 特別表彰 三部門(親・忝歳・当歳) 大関東には、文部科学大臣賞を付与する。
そのほか愛知県知事賞・愛知県議会議長賞・豊橋市長賞等
- 入 賞 優等賞 大関東西 立行司 取締一・二……………十五尾
忝等賞 関脇東西 小結東西 勸進元一・二……………十八尾
忝等賞 行司一・二・三 脇行司一・二……………十五尾
参等賞 幕内前頭東西……………百四十尾
(親魚二十枚目、忝歳魚二十枚目、当歳魚三十枚目)
- 優等賞 七千円・忝等賞 五千円・忝等賞 三千円
- 役魚料
- 備考
 - 一、各位の魚は努めて保護致しますが、不測の事故には責任を負いかねますのでご了承下さい。
 - 一、審査は公正公平に行いますので、異議の申し立ては受け付けられません。ご了承下さい。
 - 一、審査を終え、魚が展示されましたら、複写の役柄番付表に都道府県・氏名・コード番号(会員番号)を記載の上、一枚目を大会本部受付に提出して下さい。
 - 一、魚の間違い防止のため、展示終了後も係員の指示が有るまで、魚の搬出はできません。
 - 一、写真を忘れた方は、一枚千円で受け付けております。ご利用下さい。
 - 一、審査場内は、係員以外立入禁止です。

令和5年8月15日

文部科学大臣 永岡 桂子 殿

一般社団法人日本らんちう協会
理事長 宮本 政和

全国品評大会における一般参加者の参加呼び掛けについて（募集要項）

当協会は、全国品評大会に愛好家以外一般参加を可としてこれまで毎年開催しております。

参加の呼び掛け方策として、愛好家には大会参加依頼として下部組織の愛好会を通じたの広報、開催案内書を送付して参加募集しております。

一般参加者については、貴庁からのご指導を受け当協会ホームページに後援名義使用の承認を受けた段階で、大会開催募集要項を掲載し参加を呼び掛けております。

然しながら、一般参加者は下部組織の愛好会主催品評会とのレベル差から全く参加者がいない状態が続いており、今後は一般参加者の増加方策として、下記対策を継続実施して参加者を募りたいと考えております。

記

- 1 当協会ホームページに大会への一般参加者の募集呼び掛けの継続。
- 2 地方紙等に一般参加の募集要項の掲載。
- 3 全国品評大会開催時及び下部組織の愛好会が開催する品評大会において、見学者等へ全国品評大会に参加できる旨の広報。
- 4 会員に対して、全国品評大会案内状の送付及び会員からの参加啓発。

令和5年度一般社団法人日本らんちう協会主催
第66回全国らんちう品評大会開催の大綱

1. 行事等の名称

令和5年度一般社団法人日本らんちう協会主催 第66回全国らんちう品評大会

2. 主催団体名

一般社団法人 日本らんちう協会（開催地当番 中部本部）

事務所所在地

愛知県豊橋市東幸字長山82

一般社団法人 日本らんちう協会 理事長 宮本政和

3. 行事の趣旨

らんちうの種族保存、質的向上を図り飼育の研究、観識の養成と日本伝統の金魚文化に貢献するとともに動物愛護精神の普及啓発をはかる為。

4. 行事の具体的な理由

寛延元年（1747年）頃金魚として7種類位中国より渡来し古い文献、版画等で紹介されていますが、現在の『らんちう』の姿で代表されるものは昭和初期に東京の生産者や愛好者の限り無い美の追求の末、淘汰を重ねた結果現在の原型が出来、爾来関係諸機関のご指導、生産者、愛好家等の手で種族保存されて参り、特に東京の生産者の方々は東京大空襲の際に、上野の山に小さな水貯めを掘り、家財道具も出さず種魚の保存に努められたと云う逸話も残っております。

そのうち生産業者が核になり愛好者が購入した物を持ち寄り、品定めから品評会的なものに発展し徒弟的なものも生まれ、各支部結成につながり、全国で2,000名を数える大所帯になり、当協会も充実し『らんちう』愛好家の底辺も広がりました。

現在、水産試験場等のご指導が頂けなくなり、水質の悪化、病原菌の種類増加に加え、たたき池で飼育するため、土地の高騰で、『らんちう』の飼育が水槽にと飼育方法が変わり難しさを増す状態になっています。折角増えた会員の方々を金魚文化継承の為にも、充実し始めた当協会を益々強固な物にする為にも、全国各地より優秀銘魚を一堂に集め、潜在的な愛好者の眼に触れ『らんちう』の真髓泳ぐ宝石の魅力を十分味わって頂き、一般の方や会員の方には、より多く飼育技術の情報を得る交流の場として理想の魚創りといった永遠のテーマに挑戦する実践家を養成し、連帯意識の高まりから生じる活力をもって、地域における住民の福祉の増進を図ることを基本とし、全国における伝統継承金魚文化を、自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うことを目的にしています。

5. 行事等の開催場所

イ、開催期日 令和5年11月3日（金）

開催場所 愛知県豊橋市大岩町大字1番238

豊橋総合動植物公園

6. 後援名義使用の種類

文化庁・愛知県・（後援名義申請）

7. 主たる利用者

国内外の『らんちう』生産者、らんちう協会会員、流通関係者等

一般見学可（無料）